

し おん えん NEWS

新春
vol.47



本年もよろしくお願いいたします

- 発行者 北広島リハビリセンター 特養部四恩園
- 住 所 〒061-1153 北広島市富ヶ岡509-31
- TEL (011)373-6655
- FAX (011)373-6611
- ホームページ <http://www.shionen.or.jp>
- E-mail tokuyo@shionen.or.jp
- 編集発行 広報委員会
- 編集発行責任者 三瓶 徹

地域支援の核となる学校活用

施設長 三瓶 徹



明けておめでとうございます。

今年は、緑陽小学校跡を活用し地域の福祉ニーズに応える事業を行う工事着工の年であります。高齢化率が21%を超えると超高齢社会と言われ、北広島市は二〇一一年に超高齢地域になりました。北広島団地は、二〇〇三年に21%に達し、二〇二二年は34%と、「超」を超えた超高齢地域となっております。当然のことながらこの地域における福祉ニーズは益々高まって来ております。これまでの介護サービスを必要とする利用者と提供者との関係だけでなくそのニーズを補うことは難しく、地域住民との関係をもどるようになっていくのが課題になってきております。

それは、特に認知症高齢者の増加です。国は認知症高齢者の推計を見直し昨年三〇五万人と急増し、割合では六十五歳以上の十人に一人が認知症と発表しました。二〇二五年には四七〇万人に増えると推計しております。地域での徘徊者の増加、孤立化、老老介護、認知介護など超高齢地域での深刻な課題を地域全体で支える仕組みづくりが求められております。

年明け間もない新聞報道に、国の認知症対策が他の国に比較し遅れをとっており危機感のないことが掲載されておりました。北広島市でも地域の超高齢化による認知症への取り組みや対応が地域上げて進んでいるのかと言え、心もとない状況にあると感じております。

このような状況にあつて、緑陽小学校跡利活用は、北広島団地地域をサポートするセンターとして、地域住民と共に安心して暮らすことのできる地域となるよう機能させていきたいものです。介護サービスを利用する人と提供する人で完結させるサービスの在り方ではなく、「地域で生きる」をキーワードに地域の人たちと共に地域を支える仕組みをつくり、学校跡施設を核として実践できる社会資源にしていきたいものです。

今年が皆様に幸多い年となりますようにお祈り申し上げます。

北広島市
みなみ高齢者
支援センター

認知症サポーター養成講座を うけてみませんか？

平成十六年十二月に「痴呆」から「認知症」へ名称が変更になったのを機に、地域全体で認知症の人とその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつくる「認知症を知り地域をつくる十力年」という全国キャンペーンが始まりました。その一環として、地域で認知症を正しく理解する人を一人でも増やそうという「認知症サポーター一〇〇万人キャラバン事業」が始まり、北広島市でも平成十八年八月から取り組みを始めています。

北広島市においては、要介護認定者が二四六七名（平成二十四年三月末）で、そのうち約半数は、日常生活に支障のある認知症の症状がある方と知られており、その他にも、地域には要介護認定を受けていない認知症の高齢者が多くいらつしやると思われまふ。そのような認知症の高齢者が虐待を受ける、徘徊して行方不明になる、金銭の管理が出来ない、悪質商法の被害にあふ、介護者が体調不良になつてもどこにも発信できない、といったことが課題となっています。

「認知症サポーター養成講座」は認知症についての正しい知識や対応方法を学ぶ講座で、北広島市キャラバンメイトの会員が講師として講座を行います。講師役となるキャラバンメイトは、北広島市内に住んでいる介護保険事業所の職員などで、現在二十五名ほどのキャラバンメイトが活動しています。平成二十三年度までに、二四七五名の北広島市民の方に受講していただいています。

対象は、地域（自治会、サークル、サロン、お茶の間、小学校など）、職域（企業・コープ札幌さん、郵便局さん、北広島市役所職員などに受講していただいています）などで、町内会単位など少人数のところにもお伺いします。講座の時間は約九十分、受講料はかかりません。多くの市民の方が認知症という病気を学び「認知症サポーター」となることで、地域全体で認知症を理解し支え合うきっかけになればと思います。みなさんのお住まいの地区でもこの講座を開催していただけますようお願いいたします。

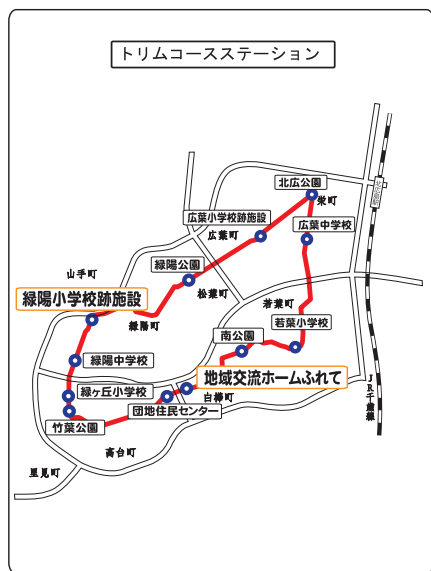
住みなれたまちでいつまでも
～ともにつくる絆と安心 緑陽の学び舎に笑顔をよせて～



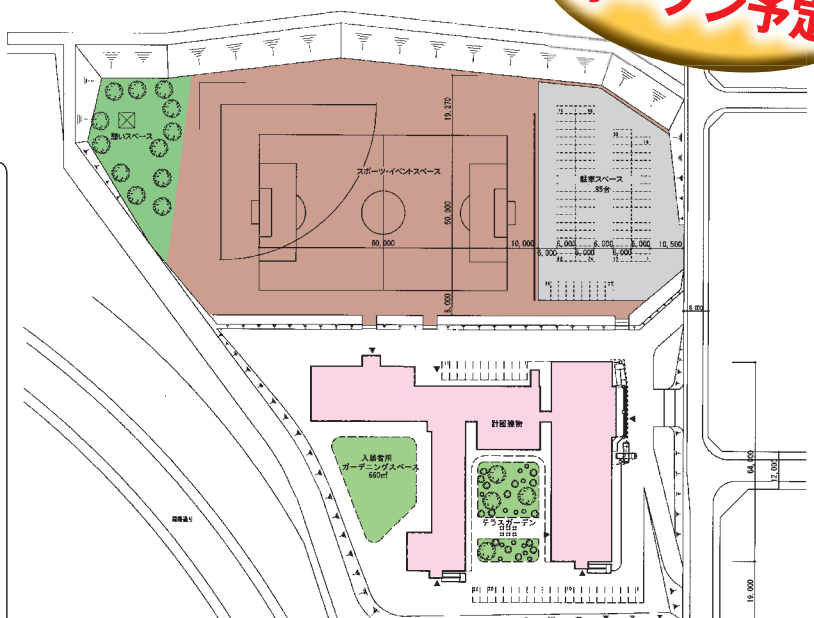
緑陽小学校

**緑陽小学校が生まれ変わり
地域の皆様と共に支える
新たな地域支援サービスが
スタートします！**

**平成26年春
オープン予定**



平面図とトリムコースとの位置図



イメージ

新たなサービス

☆地域交流ホーム

(喫茶コーナー、キッズコーナー、食堂、活動室、宿泊室、体育館、グラウンド)

☆サービス付高齢者向け住宅

☆複合型サービス

☆グループホーム

既存サービスの移転

☆居宅介護支援事業所 ☆ホームヘルプサービス ☆訪問看護

「人が生きるということの学び舎へ」



ふれてもちつき大会 2012

平成二十四年十二月二十六日、悪天候の中『ふれてもちつき大会二〇一二』が開催されました。

地域の方々で構成されているふれて市民スタッフの会が企画した年内最後のイベントに、なんと乳児から九十代の方まで二五〇名もの地域の方々が集まりました。「それっ！それっ！」の掛け声に合わせて全員でついた五臼のおもちに長蛇の列が！お汁粉、きな粉、みたらし、豆もちにしてべろりとたいらげました。ふと外を見ると猛吹雪だった天気も快晴に。参加者の熱気が猛吹雪をも吹き飛ばした一日でした。

人と人との顔の見えるつながりからお互いを支え合うことのできる地域を目指し、地域の方々が中心になって活動している『北広島団地地域交流ホームふれて』。今後も、共生の理念のもと、笑顔と愛情にあふれる地域の拠点にして行きたいと思っております。（北広島団地地域交流ホームふれて 向山）

地域交流ホームふれて
キッズコーナー

絵本にふれて

キッズコーナーの絵本を紹介するこのコーナー



今回の絵本は

さるのせんせいと へびのかんごふさん



へびの看護婦さんの薬の調合、注射や胃カメラの方法がとってもユーモア。

おさるのお医者さんと

大活躍のどうぶつ村の病院物語。

おや？ 鼻づまりの象さんがやってきました……。

四恩園クラシック part5

平成13年の特筆する出来事は、自衛隊機の誤射事件があります。世間を騒がせたこの事件について、機関誌14号巻頭で詳細な状況が記載されています。事件状況を踏まえ、三瓶施設長はお客様に対して「安全な環境」を提供出来るよう、今もこれからも私達は努めていかなければならない……と伝えています。

また、平成13年は特養部、デイサービス、ヘルパーステーション、どの事業所も外出行事に力を注いでいることが各号の誌面を通して見えます。



デイサービスひととき



平成13年の出来事

◆出来事

- ・アメリカ同時多発テロ発生
- ・小泉首相就任
- ・USJ、ディズニーシー開園

◆ヒット曲

- ・波乗りジョニー
- ・恋愛レボリューション
- ・PIECES OF A DREAM
- ・三木道三

◆流行語

- ・明日があるさ
- ・感動した!
- ・狂牛病
- ・ファイナルアンサー

～ミナパピリカ～

特養部

クリスマス忘年会



今年最後の行事です。



うん！ おいしい！

十二月二十日。弾むようなクリスマスソングの中、毎年恒例の忘年会が行われました。今回は二部構成ということで、まずはお客様皆さんでケーキやお菓子を食べながらの抽選会や職員余興の「だいこんマンボ」を披露しました。また、一年を振り返るスライドショーでは皆さんのとても良い表情の写真が映し出されました。そして、日も暮れ美味しい匂いが

食堂中に広がり、それと共に照明が落ち煌びやかなイルミネーションが点灯されました。その後はオムライスやホットパイ、エビフライなど綺麗に盛り付けされた食事が運ばれ美味しそうに召し上がっていました。

(施設サービス課 河村)

訪問看護

エステで
若がえっちゃお！
ツアー！

前日が大雪だった十二月九日の日曜日、訪問看護の利用者とスタッフ総勢十名で「エステで若がえっちゃお！」ツアーを開催しました！ 場所は札幌駅の東急デパート横にある「モイスティヌ」。ティールとお菓子を頂きちよつと説明を聞いた後、まずはもちもちの泡で洗顔から。コンパクトな美顔器で化粧水や美容液をしつかり皮膚に入れ込むと……あー不思議、白く明るいしっとりしたお肌に！ スタッフも我を忘れて真剣そのものでした。利用者の皆様もずっとほっぺをさわり鏡を見たりと満足げ。女性はいくつになっても綺麗でいたいもの。改めてそのことを実感した一日でした。モイスティヌのスタッフの皆さん、ありがとうございました！ 今後も訪問看護では様々な外出行事を企いたします。

(訪問看護ステーション 町田)



肌の変化に驚き



若返っちゃいました！

ヘルパー

「新年あけまして
おめでういげづいます。」

昨年四月からの介護保険制度改定により、生活援助の時間が短くなったお客様には、大変ご不便をおかけしました。たとえ時間が短くなったとしても、なるべくお客様に今までのサービスに近いものを提供できるよう、ヘルパーの質の向上に努めてまいりたいと思います。

本年も今まで同様、宜しく願っています。

(ヘルパーステーション 菊地)

さとみ

「あけまして
おめでういげづいます。」

へび年の平成二十五年度もスタート。みなさま幸運はおとずれていますか……。デイホームさとみでの話題の中に「へび話し」と言うのがあります。お客様がそれぞれ長い人生で何度も経験した事を、昨日の出来事のように盛り上げて話してくれるのです。「へえ、本当！」と聞いている人の驚いた反応が話し手にはなんとも気持ちが良いとの事。話し手も何度も話し、聞き手も何度も耳を傾けます。なるほど「へび話し」はそう言う事かと、皆様デイホームさとみに通ってこられます。へびとの遭遇は長寿の約束との事。皆様今年はどこかで幸運の使いに出会えたら良いですね。

(デイホームさとみ 及川)

デイサービス

年忘れ大餅つき大会

今年もやってきました！ 年忘れ大餅つき大会！！

外はすっかり雪景色、職員はもちろんお客様にも半被を着て頂き、デイサービスはお祭りのような雰囲気。杵と臼が登場し、「わぁ、懐かしい」と声があがり、男性の方々は昔を思い出しうずうず。蒸かしていたもち米が登場すると、待っていましたとばかりにお客様から拍手が起り、大餅つき大会開催！

合いの手はボランティアの方に手伝って頂き、始めは施設長や副施設長が餅をついた後、「昔はやってたんだよ」「ヨイショ！ ヨイショ！」とたくさんのお客様にもついて頂きました。デイサービス最年長の102歳の方にもついて頂き、縁起が良い、美味しいお餅をつくことができました。

つきあがったお餅は、お汁粉、雑煮、きな粉餅にして皆さんで和気あいあい召し上がっていただきました。

(デイサービス 岡崎哲也)



さすが力強い！



おいしい笑顔♪



そーれ！ いくわよ～！



準備OKよ！



それ！ヨイショッ！



美味しいお雑煮よ



衣装も歌もきまっています



みなさん楽しそう！



さあ、踊りましょう



忘年会、大盛況です

かたる

ありがとうとお疲れ様！
かたる大忘年会

デイホームかたるでは、昨年に続き、十二月六日から一週間、大忘年会行事を開催しました。

一年の感謝を込めた、この行事。お客様参加型の行事として、実施していただきます。お客様には、歌声や一芸を披露していただき、ご参加された地域の方も「素晴らしいね！こんなに楽しいのなら、毎日来れば良かった」と、地域の方々とつながることもできた行事となりました。

お客様、職員、地域の方々とともに、大笑いし、一年を振り返り、来年への活力となりました。平成二十五年も様々な行事を実施させていただきましたが、お客様や地域の方々に喜んでいただけるように、共にふれてかたれるような行事を企画していきます。

(デイホームかたる 富岡)

感染予防の標語

〈お客様、職員共々安心安全を第一に感染対策に努めましょう〉

(感染対策委員会)

知ろう！ 防ごう！ 感染症 一知れば防げる感染症 まずはうがい手洗い—**大地震発生！****その時、私達は……**

〈老人施設における地震災害訓練〉

平成二十四年十月二十五日暖かな秋晴れの午後三時、突如として北広島市に大震度が襲った……。

この日、私達は四恩園開設以来初となる震度五を想定した地震災害訓練を実施しました。拡声器のけたたましいサイレンが地震発生の合図です。四恩園を利用するお客様のほとんどがとっさの行動が困難な方々です。揺れている間、職員は落ち着いた行動をとらなければなりません。そして自らの身の安全を確保しながら声かけをして、お客様が不穏にならないよう配慮し、場面に応じた対処行動を行います。食堂ではお客様の車椅子を抑えしやがみ、揺れが収まるのを待ち、各居室ではベッド脇に待機し転落しないよう見守ります。厨房はどうでしょうか。二次災害を防ぐため調理機器の火を止め、包丁など危険な器具はシンク内に入れ安全な場所に隠れます。

揺れが収まりました。事務室では災害対策本部体制がしかれ職員が集まり情報収集に努めます。お客様を安全で広い場所に誘導し、速やかに安否確認を行います。被害状況、避難経路を確認し本部に報告します。さらに地震情報を外部から入手することも重要です。

今回の訓練は、防火対策委員会がまとめた地震対策マニュアルに沿って行いました。訓練を行う事で新たな事実も分かってきました。私達は今後も訓練を重ね、来るべき「その時」に備え、安心と安全を準備していかなければなりません。

(防火対策委員会)

安全運転の
標語**雪山の 向こうに何かが来るぞ 要注意！**

(交通安全委員会)

四恩園では安全運転の標語と北広島市内交通事故危険マップを作成し、職員一人ひとりが安全運転を心がけています。

お悔やみ 北広島市最高齢者 角田サダ様 逝く

四恩園開所から長年生活されておりました、角田サダ様（108歳）が、昨年暮れにご逝去されました。角田様は、四恩園にたくさんの思い出を残されてゆかれました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

編集後記

今年も早いもので、1カ月が過ぎてしまいました。あの暑かった夏はどこへ消えてしまったのか……。今年は寒さがより厳しく肌に突き刺さるようです。（毎年、「今年は寒い」と言っている気がしますが……）しかしながら、冬は蓄えの季節。四恩園も、近づく春に向けて、準備の真っ最中です。皆様も、春を元気に迎えられよう、しっかり体力を蓄えていきましょう。